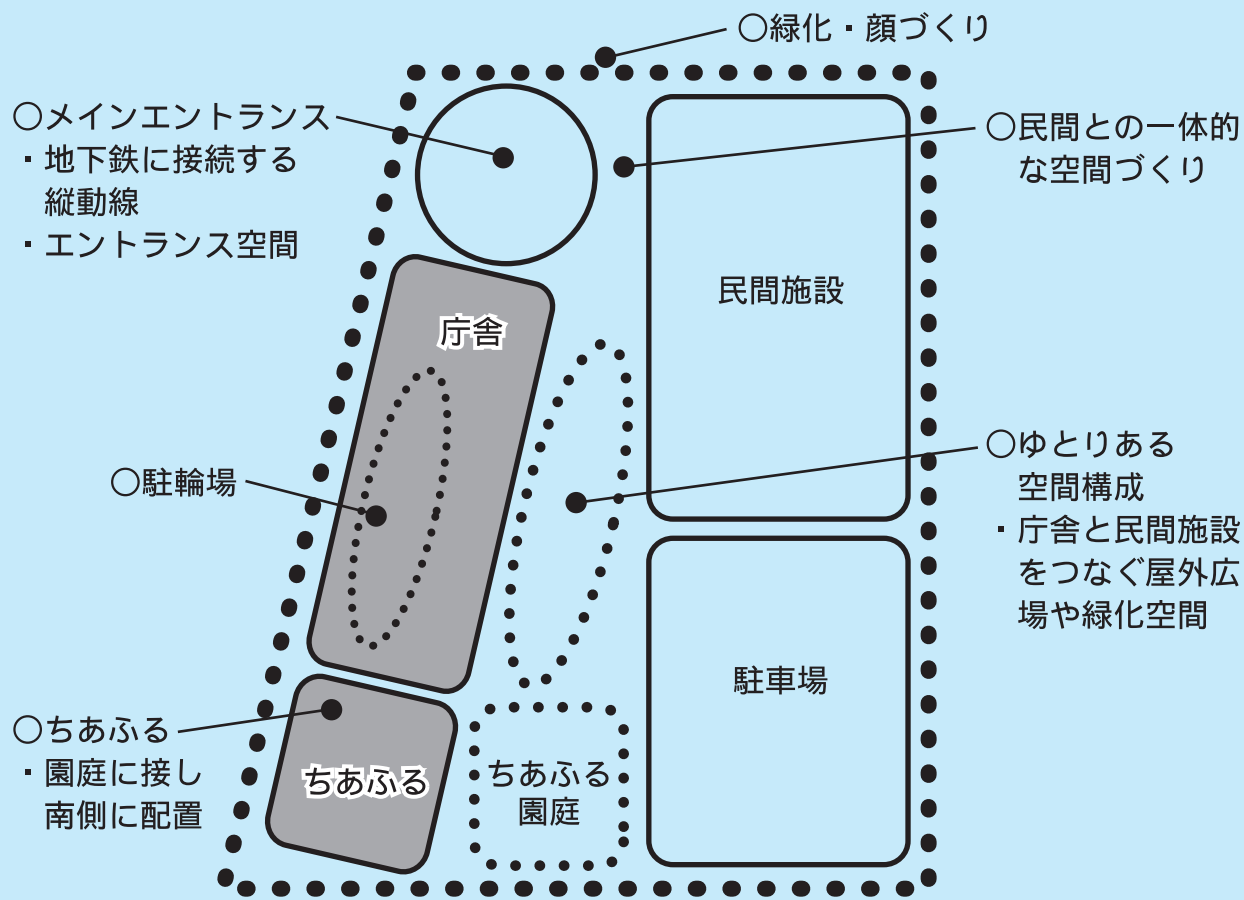


# 新・白石区役所、計画が具体化



道議初当選以来の公約  
**実現に向け着々と進行**

道議初当選以来、ずっと掲げてきた公約、「白石区役所の移転」は公明党札幌市議団とも連携しながら着々と進み、先に発表された基本計画の概要によると平成26年度から工事が着手され、28年度に供用開始予定となっています。

新施設は地下鉄白石駅に直結、地域の活性化や、防犯・防災への配慮がなされるものとなっています。

### 新施設の特徴・ポイント

- ◎地下鉄白石駅・バスターミナルと地下でつながり、外に出ることなく区役所に行くことができます。
- ◎設備の長寿命化・省エネ化を図り、また地中熱や太陽光など再生可能エネルギーの活用を検討しています。
- ◎地域の防災拠点・災害対策拠点として、自家発電設備や貯水槽の設置などを検討しています。
- ◎「絵本図書館(仮称)」など、道内でもあまり例を見ない施設の設置を検討しています。

### プロフィール

- 昭和28年6月12日 香川県坂出市生まれ
- 昭和47年 国立詫間電波高校(現香川高専)卒業
- 昭和56年 神戸大学経済学部卒業
- 平成6年 時事通信社退職(22年間勤務)
- 平成7年 北海道議会議員初当選
- 平成23年 同4期日当選
- ◆公明党北海道本部 幹事長
- ◆北海道議会 公明党議員団 団長
- ◆石狩湾新港管理組合議会 議員

### 森しげゆき事務所

〒003-0025 札幌市白石区本郷通2丁目北3-21  
 TEL 011-860-4151/FAX 011-865-9043  
 URL <http://kmplan.net/usr/mori/>  
 E-mail [sigemori@seagreen.ocn.ne.jp](mailto:sigemori@seagreen.ocn.ne.jp)

発行:森成之/編集:ケー・エム・プラン

# もり 木 林 しげ ゆき 通信



2013  
春号



## 危険箇所等の調査を実施—昨年から



公明党が掲げた『防災・減災ニューディール政策』の実現に向け、道議会公明党も現状調査に動き始めました。既に改修・改築工事が始まっているところを含め、防災上、問題がありそうな建築物や設備を積極的に視察、必要性などについて検討を重ねました。写真は昨年7月に石狩・空知の橋梁を視察したときのもので、石狩大橋(上)は補修を予定、月形大橋は既に架替え工事が始まっています。

## 平成24年度 道補正予算でも防災・減災対策として約1,300億円を計上

『防災・減災ニューディール政策』が北海道でも動き出しました。平成25年2月に開かれた第1回臨時会で24年度の道の補正予算が可決されましたが、公明党の主張が反映され、主に防災・減災に振り向けられる分として約1,300億が計上されました。使途としては、緊急性の高い防災・減災対策に資する公共事業などに充てられ、老朽化した農業水利施設の長寿命化、道路の落石対策、ゲリラ豪雨に備えた河川改修、漁港施設の長寿命化(=中面に関連記事)等、また橋梁の架け替えや道路・街路の整備にも使われます。

防災・減災ニューディール政策実現に向けて

道議会公明党議員団の団長として、議会質問だけでなく、道への直接的な要望や申し入れをリード。2012年の1年間では6回の申し入れを行いました。

◎2012. 03. 21/大雪の被害対策

空知管内などに農業に大きな被害が出た記録的な積雪で、農家負担を最小限とする融資制度創設や「緊急雇用交付金」などの積極的な活用を求めました。

◎2012. 05. 14/災害対策

道内各地で土砂崩れや道路路面の崩落などで長期間の通行止めが続き、「被災した国道の早期復旧」「高速ネットワークの早期形成」などの対応を求めました。

◎2012. 06. 25/道と札幌市の連携強化

北海道全体の発展のため、道と札幌市が、従来の行政懇談会から、より高レベルで幅広い政策を協議する「夢・未来会議(仮称)」の設置を求めました。

◎2012. 08. 24/  
O157対策

腸管出血性大腸菌O157による食中毒が拡大していることから、発生予防や風評被害の拡大防止など、早急に万全の対策を講じるよう要請しました。

◎2012. 10. 05/

冬期の電力安定需給  
冬期間の電力需給見通しが極めて厳しいことから、官民挙げて節電に取り組む環境作りと、交通や医療など道民生活への影響が最小限となるよう求めました。

◎2012. 11. 29/

暴風雪被害対策  
送電用鉄塔の倒壊による停電などの甚大な被害が出た暴風雪で、北電に対する速やかな復旧の要請、避難所で避難している方々への万全のケアを求めました。

道議会本会議で一般質問



11月29日、道議会本会議で一般質問に立ち、さまざまな課題への道の取り組みを質問しました。内容は経済の活性化や保健医療福祉対策などで、産業振興に対する知事の取り組みなどを聞きました。

申し入れが実を結ぶ

道と札幌市では、これまでの政策協議会を発展させる形で、平成25年度から、若手職員10人ずつ程度の意見交換会を創設することが決まりました。

長万部町

静狩漁港の長寿命化に取り組む

防災・減災ニューディール政策の道内のモデルに

1月29日、長万部町の静狩漁港を訪れました。同漁港は老朽化が著しく、今回の防災・減災に向けた補正予算(1面参照)を投入しての長寿命化対策事業を行うことが決まったことで、町や漁業関係者と意見交換するとともに、漁港の現状を視察しました。

静狩漁港の施設は最も古い部分で60年が経過しており、老朽施設の長寿命化を図ることで、更新コストの縮減を目指しています。今後、道内の防災・減災ニューディール政策推進のモデルになり得るものとして期待されています。



25年度予算で道に要望書

平成25年度  
の予算編成に向け、党議員団としてさまざまな要望をまとめ、1月25日、高橋知事に手渡しました。

内容は景気・経済・雇用対策をはじめ多岐にわたっており、特に北海道版防災・減災ニューディール政策の策定や、脱原発の加速・再生可能エネルギーの導入などを強く求めました。



酪農牧場を視察

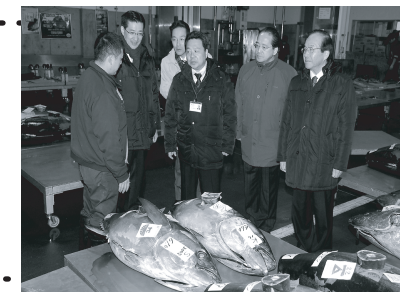
1月19日、安平町と苫小牧市にある牧場を訪問。経営者の方々と酪農や畜産の課題について意見交換するとともに、経営状況についても話を伺いました。

これは、現場の声を政策に反映させるために訪れたもので、「地域性に見合った補助制度を」などのご要望をいただきました。



初競りを視察

1月5日、札幌中央卸売市場の初競りを視察しました。全道各地からの農産物や海産物が集まる同市場は札幌の食の流通の一大拠点であり、約2千人の市場関係者が参加しました。



脳脊髄液減少症の治療推進を道に要望

昨年4月9日、脳脊髄液減少症患者

者らの支援団体が道に治療推進の要望書を手渡す場に同席しました。この病気は周囲の理解が中々広がらずこれまで議会で再三取り上げてきましたが、今年の1月から、札幌医科大学でも先進医療が始まりました。

